



各 位

会 社 名 : 株式会社夢テクノロジー
(コード : 2458 JASDAQ)
代表者名 : 代表取締役社長 本山 佐一郎
問い合わせ先 : 取締役副社長 金子 壮太郎
(TEL : 03-6420-3828)

中期経営計画(平成 30 年 9 月期～平成 32 年 9 月期)策定に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 5 月 2 日に新中期経営計画(平成 29 年 9 月期から平成 31 年 9 月期)を発表いたしました。最近の外部環境及び業績動向を踏まえて、新たに平成 30 年 9 月期を初年度とする 3 ヶ年の中期経営計画を策定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 今期の業績予想及び今後の業績目標

(百万円)

	平成 29 年 9 月期 (実績)	平成 30 年 9 月期 (業績予想)	平成 31 年 9 月期 (計画)	平成 32 年 9 月期 (計画)
売上高	7,385	10,000	14,500	20,500
営業利益	174	650	900	1,700
純利益	65	410	570	1,090
期中採用人数	941 人	1,200 人	1,600 人	2,000 人
期末エンジニア数	1,716 人	2,400 人	3,400 人	4,600 人

2. 新たな中期経営計画策定の背景

現在、日本経済において、労働人口の減少等による「人手不足」は大きな課題となっており、特に当社の顧客であります製造業及び IT 業界では専門的知識を有した人材を求めため、人手不足はより逼迫した状態となっております。さらに、国内の製造業及び IT 業界の企業業績が堅調に推移していることを受け、エンジニア派遣需要は引き続き高い水準で維持されると推測しておりますが、人材に関する引き合いの増加に伴い、同業他社との人材獲得競争がさらに激化することが見込まれます。

当社は、今後のエンジニア需要の拡大を見込み、平成 29 年 9 月期に年間採用計画を 675 人から 1,000 人へ大幅に修正し、より積極的な採用活動を行ってまいりました。また採用人数の増加に伴い、より機動的な研修体制を構築するため、外部委託していた研修の内製化及び研修拠点の新設等の施策を実行してまいりました。その結果、在籍エンジニア数は大幅に増加したものの、採用人数は年間 941 人と計画を下回る結果となりました。また、急速にエンジニアが増加したことに伴い、定着率や稼働率の低下が見られ、利益率の低下に繋がりました。

以上のような外部環境及び業績動向を鑑み、この度新たに中期経営計画を策定することといたしました。

3. 中計経営計画の重点施策

- ① 会社の規模を拡大するため、積極採用を継続し、エンジニア数 4,500 人体制の構築を目指します。
- ② 研修体制を充実させ、若い人材を業界の次代を担うエンジニアに育成してまいります。
- ③ 人材のフォロー体制を強化し、定着率の向上に取り組んでまいります。
- ④ 適切かつ迅速なマッチングを行い、稼働率の改善に取り組んでまいります。

4. 株主還元政策

- ①業績に連動した利益配分とし、毎期増配を目指します。
- ②利益率の維持+高配当による自己資本の肥大化防止 ⇒ ROE20%の維持を目指します。
- ③IR活動を活発化させ、流動性の向上、適正な株価水準の維持に努めます。

以 上